

表彰の機会に際し、訓示を兼ねて私から一言御挨拶申し上げます。

本年は明治百五十周年の節目であるとともに、名称と違上所から税関に統一してから百四十六年となります。このように歴史と伝統を有する税関を訪れ、皆さんがそれぞれの持ち場で士気高く業務に取り組んでいる姿を目にして大変心強く感じました。

ここにいらっしゃる受賞者の皆様は、持てる能力・技術をいかに発揮され、密輸の摘発や事案の解明に貢献されました。具体的には、

- ・過去の摘発事犯関係者に対し、粘り強く調査し、行動確認を行うなどして、貨物を手配した結果、多量の覚醒剤を摘発した事案
- ・入手した情報を詳細に分析するとともに、張り込み、行動確認により、輸入者を特定し、多量の金地金を摘発した事案などです。

これらはまさに、税関の仕事が一朝一夕でできるものではなく、かなりの訓練を要する仕事であることの手本を示すものです。皆様方の日頃の努力に対し、深く敬意を表するものであります。平成に入ったこの三十年間で、貿易額は二・七倍、輸出入許可件数は四・九倍、訪日外国人旅客数は十二倍と、社会環境が大きく変わりました。こうした中、社会悪物品や金地金の密輸リスクがますます増大しています。

2019年のG20大阪サミット、TICAD、ラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会といった大規模な国際的なイベントの開催が迫っています。

更に、来年には即位礼正殿の儀も予定されており、円滑な通関とテロ対策の強化が求められています。また、本年十二月三十日にはTPP11が発効します。本年七月には日EU経済連携協定も署名に至っており、貿易の円滑化を担う税関の役割がますます重要となります。

水際の法執行を担う税関に対する国民の期待は、一層高まっています。こうした中、税関の定員について、四年連続で三桁の純増としているところでありますが、ますます増加する税関の業務量への対応をしっかりと行っていく必要があるため、今後とも更なる体制整備を図っていきます。

その上で、皆さんも更に技術を高めるとともに、業務の効率化に努めつつ、水際対策を徹底的にやり抜いてください。今後とも、税関の三つの使命である、

- ・国民の安全安心の確保、
- ・適正かつ公平な関税等の徴収、
- ・貿易の円滑化、

に全力を挙げて取り組んでいただきたいと思っております。

最後になりますが、職員の皆さんにおかれれば、御家族を大切にするとともに、健康に留意して、日々の職務に邁進することを期待して、私の挨拶といたします。

平成三十年十一月二十七日